



天王森通信

2022年10.11.12月号 No.116 発行：天王森泉公園運営委員

写真【天王森泉公園正門 & 公園前の彼岸花と田んぼ】

「天王森泉公園」は、開園25周年を迎え、 公園保全のさらなる継続へ

運営委員会会長 角本 等

11月13日(日)は、天王森泉公園の開園25年記念日として「天王森まつり」を開催いたします。開園25年を迎えられるのも、利用者の方々、ボランティアの方々、公園近隣の方々、そして公園スタッフ及び横浜市等公的関係の方々のご理解とご協力によることと思っております。感謝いたします。(※当公園は、ボランティアが運営)

この25年の間に、公園の運営は、少しずつ時代に添って変化しています。一昨年は、横浜市の南部公園緑地事務所と私達公園運営委員会とで生物多様性の考えも含めた「天王森泉公園保全管理計画」を作成し、それに沿って活動をしています。

主な活動として、「里山の自然環境の維持、生物多様性の保全」を行っています。内容は、

- ・保全計画に添って植物・鳥類・昆虫類・哺乳類の現状調査を行う「生き物調査観察会」(年12回)等を実施しています。
- ・森の「高木の雑木林」から「低木の明るい雑木林」に再生するため再生作業を行っています。

公園のキャッチフレーズも新しくなり、「里山と泉、そして歴史にふれる」を、「歴史と自然を受け継ぎ、みんなに愛される憩いの天王森」としました。「自然を受け継ぎ」という文言を入れました。

また、当公園の4大行事の「竹の子まつり」、「ほたる鑑賞会」、「天王森まつり」、「天王森もちつき」、その他のイベントを感染防止対策しながら、来園者およびボランティアが楽しく安全で快適に過ごせるよう努めてまいります。皆様のご協力及びボランティアとして(募集中)ご参加頂き、一緒に継続できるよう進めれば幸いです。

「野の花苑」

今年の夏は、暑くて雨が早く多く草取りが大変でした。ドクダミ、ヤブカラシは、取ってもすぐに芽を出して、大きくなり、育てている草花が負けそうでした。週1回の作業も雨が降ると出来なくなり、雑草は喜んでいたらかも知れません。

秋の草花は、イソギク、ノジギク、ノコンギク、フジバカマ、ホトギスなど、今年は新しくタカアザミが見られると思います。

最近秋が短く感じられますので、涼しくなって歩きやすくなった日には、季節の草花、草紅葉、木々の紅葉も楽しみに公園へ、お出かけください。

by 井上



【フジバカマ】

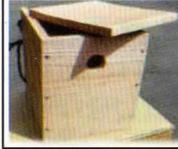


【タカアザミ】



【イソギク】

天王森泉公園行事カレンダー(予定) 詳細はホームページを参照ください。



「巣箱作り体験」
10月9日(日) 参加予約制
工具を使って鳥の巣箱作成
完成後、別途公園設置可能



「稲刈り体験」
10月15日(土) 地域保育
幼稚園・児童の稲刈り
一般の方は、募集中止。



「古民家ライブ」二胡演奏
10月16日(日)参加予約制
演奏者 村田悦子 他
二胡、タブラ、エレクトーン



「新そばまつり」
10月23日(日) 事前予約
先着30食限定
そば打ち有志が奉仕



「天王森まつり」
11月13日(日) 自由参加
公園開園25周年記念行事
天王森鍋・焼芋・野菜直売



「天王森もちつき」
12月4日(日) 自由参加
ボランティアが育てたもち
米の収穫祭



「節分豆まき」
2月3日(金) 自由参加
良い春(年)を迎える行事



「吊るし雛展」 自由見学
2月11日(土)~3月5日(月)
文化交流古民家の演出
(日程調整中)



「冬の野鳥観察」 参加予約
2月12日(日) 野鳥観察
を通し近隣の自然観察に
触れる

天王森泉公園のホームページ
<https://www.tennomori.net>



天王森泉公園

今年のくわくわ森

くわくわ森の樹木が、100本以上伐採されてから森が明るくなりましたが、そのかわり草地が増えました。その草地は今年の気温の高さで草の生育が早く、草刈りをする回数が今までより多くなっています。

草刈機を使っての作業なので、近隣の皆様には機械音でのご迷惑をお掛けすることになります。

できるだけ音の静かな電動機械で作業いたしますが、ご了承をお願いいたします。

樹木がなくなった空間には、新しく小さな苗が育っています。それを保護しながら、新しい森を作っていく予定です。



by 保全管理
山本

竹林の小径



(秋は竹の春)見ごろ 10月
足を止めて見上げてごらん天空！
伸びる濃い緑の先に濃い青い空
濃・来・恋？
思わず一呼吸で明日へのパワー
アップ

せせらぎ・ワサビ田鑑賞でホットな一時を！

☆推奨竹林＝鎌倉：報国寺・英勝寺 by 大西

手打ちそばの会 (同好会)



切磋琢磨・技アップ？

定例会＝月 1

＝2・8 蕎麦主体

試食打ちは順番性：個々評価
多彩＝技アップに

使用粉は特定せず全国北～南 食べ比べ！

300g・500g・600g・10割・かわりそばなど

☆公園事業では・そば打ち体験・新蕎麦祭りのプロ
デュース担当

☆同好会員の募集は中断中・体験会は 2回/年

新蕎麦祭り：10月23日(日)予定 by 大西

実りの秋到来！ 田んぼ作業

天王森公園の前に広がる、田園地帯。ここの一角にて、われわれ田んぼグループも「餅米」と「黒米(古代米)」の収穫めざして作業に勤しんでいます。

まずは、9月17日、鳩の森保育園(OB)ファミリーと一緒に、黒米の稲刈り作業。田植え、夏の雑草取りに引き続き、子供たちもパパ・ママもみんなでワイワイ楽しく進め、半日で見事に完了！台風前に終わられてほっとしています。ありがとうございます！

さて、次は10月15日(土)に餅米の稲刈りを予定。こちらも、田植えに参加した、メンバーの活躍に期待しています。

稲刈り後は、天日干しして脱穀、精米を経て、餅米は、12月4日(日)「天王森餅つき」の材料になります。お餅の他、餅米と黒米も販売します。

そして、春の田んぼ荒起こしに始まり、代かき、苗作り、田植え、草取り・草刈り、稲刈り、脱穀、精米、餅つき・収穫・・・と年末までの充実した作業が一段落します。

来年も、また楽しく進めていきますので、興味ある方はぜひ一緒にやりませんか？まずは、体験してみてください。 by 田んぼグループ 水越



主な行事のご報告

■「夜の虫ライトトラップ」7月31日(日)



昨年に引き続き「夜の虫ライトトラップ」夜の虫生態調査・観察会を行いました。参加者・スタッフ15人で、夜の生き物を調査しました。今年は、甲虫のカブトムシ、クワガタなど50種類以上見つかりました。



■「水辺で遊ぼう生き物観察会」8月7日(日)



3年ぶりの水辺の観察会を、境川遊水地公園と共催で開きました。和泉川に入り、生き物の捕まえ方、生態などを教わりました。ウナギ、カニ、エビ、アユなど21種類も見つけることができました。生き物は終了後解放。夏休みの子供たちに楽しい思い出ができたようです。



天王森泉館利用案内

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎月第2・4火曜日(祝日は翌日)

年末・年始(12月29～1月3日)

問合せ先：天王森泉公園事務局 045-804-5133

館内施設の利用：利用日の2ヶ月前より申込受付